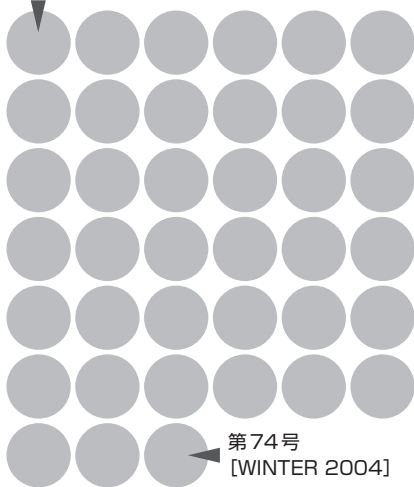


総目次

創立10周年記念特別(第36号)
[SPRING & SUMMER 1994]



第74号
[WINTER 2004]

※なお、創刊号から第35号までの内容については、
「創立10周年記念特別号」(第36号)をご覧ください。

36 創立10周年を迎えて

(豊田章一郎・
道路新産業開発機構会長)
財団法人 道路新産業開発機構の10
周年を祝して(藤川寛之・建設省道
路 局長)

56 創立15周年を迎えて

(豊田章一郎・
道路新産業開発機構会長)
創立15周年のごあいさつ(尾之内由
紀夫・道路新産業開発機構理事長)
創立15周年を祝して(大石久和・建
設省道路局長)

・巻頭インタビュー (聞き手/田村研平)

- 37 情報と若者を語る・中野 収 [1]
若者とメディアの重ね着現象
メディア・オン・メディア
- 38 情報と若者を語る・中野 収 [2]
メディアから<私物語>へ
- 39 情報と倫理を語る・加藤尚武 [1]
情報倫理学の幕開け
- 40 情報と倫理を語る・加藤尚武 [2]
ハーム・トゥー・アザーズの原則
- 41 情報と倫理を語る・加藤尚武 [3]
電子社会が迫る東洋文化の見直し
- 42 情報と生命を語る・中村桂子 [1]
生き物の情報系は意外に単純
- 43 情報と生命を語る・中村桂子 [2]
“生命”こそ21世紀のコンセプト
- 44 情報と都市文化を語る・
梅棹忠夫 [1]
日本合藩国の文明史的背景
- 45 情報と都市文化を語る・
梅棹忠夫 [2] 都市神殿論
- 46 情報と都市文化を語る・
梅棹忠夫 [3]
国家、文化サービス機関論
- 47 情報と活字文化を語る・
津野海太郎 [1] 編集者とパソコン
- 48 情報と活字文化を語る・
津野海太郎 [2] 本は消えるのか?
- 49 情報とサイバーパンクを語る・
巽 孝之 [1]
サイバーパンクとは一体、何か?
- 50 情報とサイバーパンクを語る・
巽 孝之 [2] 日本人=サイボーグ論
- 51 情報とセキュリティーを語る・

田尾陽一 [1] 幕末のような、通信
革命の熱気の中で

- 52 情報とセキュリティーを語る・
田尾陽一 [2]
サイバー・セキュリティーの課題
- 53 情報と都市計画を語る・
大西 隆 [1]
質の転換を求められる都市生活者
- 54 情報と都市計画を語る・
大西 隆 [2]
21世紀を展望する都市計画
- 55 情報と都市計画を語る・
大西 隆 [3] 環境問題と都市交通
- 56 情報と交通を語る・川嶋弘尚 [1]
日本のITSプロジェクトの現状と問
題点
- 57 情報と交通を語る・川嶋弘尚 [2]
情報インフラと交通インフラのスタ
ンスを考える
- 58 情報と交通を語る・川嶋弘尚 [3]
ITSと国際標準(ISO)をめぐる課題
- 59 情報と地球環境を語る・
石 弘之 [1]
地球環境と欲望の20世紀
- 60 情報と地球環境を語る・
石 弘之 [2]
都市人口が農村を凌駕する21世紀
- 61 情報と地球環境を語る・
石 弘之 [3]
21世紀の日本人の選択
- 62 新しい世紀のインターネットを語る・
高橋 徹 [1] 次世代インターネッ
トと知性の息吹き
- 63 新しい世紀のインターネットを語る・
高橋 徹 [2] インターネット的知
性を求めて
- 64 新しい世紀のインターネットを語る・
高橋 徹 [3] eコマース(電子商
取引)立国を目指す21世紀の日本
- 65 新しい世紀のインターネット・ビジネ
スを語る・南場智子 [1] ネットで
楽しくてたまらないことをしたい
- 66 新しい世紀のインターネット・ビジネ
スを語る・南場智子 [2] 一つの球
をイメージした経営をめざして
- 67 ブロードバンド時代を語る・
石田晴久 [1] インターネットを変
えるブロードバンド
- 68 ブロードバンド時代を語る・

石田晴久 [2] ブロードバンド社会を生きる

- 69 ブロードバンド時代を語る・石田晴久 [3] ブロードバンド社会を生きる
- 70 iモードを語る・松永真理 [1] iモード以前
- 71 iモードを語る・松永真理 [2] iモードと私
- 72 ユビキタス・コンピューティングと電腦社会を語る・坂村 健 [1] パソコンが消える日
- 73 ユビキタス・コンピューティングと電腦社会を語る・坂村 健 [2] 21世紀はまさにユビキタスの時代
- 74 ユビキタス・コンピューティングと電腦社会を語る・坂村 健 [3] 21世紀日本の情報戦略

T&B SPECIAL

36 機構の活動——

21世紀の展望と10年の軌跡

- 座談会・21世紀のニューフロンティアを展望する——国土・交通・情報の文明論——(下河辺 淳/石原舜介/越 正毅/尾之内由紀夫/司会・田村研平)
- インタビュー・ゆとりある社会づくりに資する活動領域の創造を——機構創立10周年におくる言葉——(梶原拓/インタビュー・吉井一弥)
- 情報化と知能化——21世紀の道路交通に向けて(高羽禎雄)
- これからの道路と通信について考える(羽鳥光俊)
- 車と道路のインテリジェント化をめぐる(川嶋弘尚)
- 人、車そして道路とのこれからの関係(浅野正一郎)
- 21世紀社会への視点——第14回講演会より(藤井治芳)
- 賛助会員座談会・「官民協調」で大きな成果あげる——機構10年の活動、回顧と展望(亀井正侃一/俣野 実/石川昶夫/熊谷靖彦/畑村雄二)
- 財団の事業活動10年の軌跡(高橋昭治)

37 CATV ニューステージ

- どこへ行く、日本のCATV(藤岡伸一郎)
- 世界の情報ビジネスと、日本のCATV(音好宏)
- CATV事業の現状と課題等に関する現業からの視点(牛島 一)
- 38 道路空間のインテリジェント化をめぐる
 - 情報化時代の道路整備とC・C・BOX(谷口博昭)
 - 21世紀社会への備え——電線類の地中化(増澤孝吉)
 - 埼玉県における道路を中心とした地域の情報化の取り組みについて(古木守靖)
 - 岐阜県の21世紀型情報都市地域整備構想(案)について(岡部安水)
 - 次世代道路交通システムへ向けて——第1回ATT&IVHS ワールドコンGRESS(パリ)に参加して(道路新産業開発機構)

39 マルチメディアのリアリティー

- 放送と通信の融合と日本のマルチメディア・ビジネス(小林宏一)
- マルチメディア時代におけるユニバーサル・サービス(田川義博)
- 東京都のマルチメディア実験計画(猪口修道)

40 阪神大震災が照射するもの

- 強靱で柔軟な都市インフラづくりのために(武田文夫)
- 都市の情報通信システム破壊への対応(高橋洋文)
- “裸”にされたマス・メディア(藤岡伸一郎)

41 インターネット・シンドローム

- 対談・インターネットの魅力と魔力(高橋 徹/若林一平)
- バーチャルコミュニティの社会システムを考える(原 俊彦)
- インターネット・ビジネス新事情(猪口修道)

42 ITS 世界会議・横浜

- 第2回ITS世界会議'95横浜(沼崎英夫)
- ITSの推進とその影響(川嶋弘尚)
- 第2回ITS世界会議'95横浜を終わって(道路新産業開発機構)

43 デジタルTV時代の幕開け

- 衛星デジタル多チャンネル化元年の混沌(藤岡伸一郎)
- アメリカのメディア・ビジネス再編のうねり(音好宏)
- セコムのCATV戦略(猪口修道)
- 44 RACSからVICSへ、そしてITSへ [1]
 - RACSの研究開発からVICSの実用化への経緯について(道路新産業開発機構)
 - インタビュー・路車間情報システム(RACS)研究開発をふり返って(藤田大二)
 - RACSからVICSへ、13年間のあゆみ(1)(道路新産業開発機構)
 - ビーコン通信の確立したRACS(高羽禎雄)
 - タイムリーなデジタル道路地図の一元的な整備体制づくり(柴田正雄)
 - 「ニワトリ・タマゴ」論のジレンマから脱したRACSの発展(三藤邦彦)
 - RACSからVICSへ、主要年譜
 - 路車間情報システム(RACS)研究開発、参画者名簿
- 45 RACSからVICSへ、そしてITSへ [2]
 - 座談会・ITSへの取り組みと展望(中川 哲/福井良太郎/川嶋弘尚/野口俊武/熊澤正博/仲村 巖/司会・角町 洋)
 - RACS・VICSの思い出、ITSへの期待(藤重正雅志、和田隆之、森井幸三、福田邦弘、増田芳太郎、五十嵐昭夫、吉海達)
 - RACSからVICSへ、13年間のあゆみ(2)
 - RACSからVICSへ、主要年譜(2)
 - ITSへの思い——21世紀への期待を込めて——(高羽禎雄)
- 46 AHS、上信越自動車道のフィールドテストを終えて
 - AHSフィールドテストとその意義(小川寛一)
 - インタビュー・走るレーンから、走らせるプラットフォームへの道路の変貌(吉本堅一/沼崎英夫)
 - AHS、2010年実用化に向けた展開(猪口修道)
 - AHSと路車間通信(山田 豊)

- ホンダAHSシステムの開発
(中島豊平)
- この技術はいけると思う(田子みどり)
- 47 実用化に向け、伸展するETCシステム開発**
- ETCシステム研究開発の歩みと実用化の展望(猪口修道)
- ETC試験運用が見学できます
- 海外におけるETCシステムの動向(野口直志)
- ワイヤレスカードシステムの展開(山内 徹)
- 48 米国におけるITSの動向**
- 米国のITSと日本の課題(徳山日出男)
- 米国におけるITSの状況(関 馨)
- ITSアメリカ年次総会出席報告(厚朴靖広)
- 49 カーナビ進化論**
- カーナビ地図ソフトの普及をめぐって(猪口修道)
- 市民権を得たカーナビ・システム(片山 修)
- マルチメディアと自動車の未来(館内 端)
- 50 NAGANO & ITS**
- 長野地域道路交通情報システムの展開(緒方隆則)
- 欧州におけるITSの状況(小川寛一)
- 51 オリンピック効果の一側面——長野五輪を終えて**
- 長野県の交通基盤整備と今後の県づくり(小林貴男)
- 長野地域ITSショーケースの運用効果(藤牧律雄)
- オリンピックの成功を支えたボランティア活動(丸田藤子)
- 52 ターゲットはISO**
- 世界のトップを走るISO 天国ニッポンの200X年への航海図(栗 文男)
- 次世代携帯電話で世界標準をめざすW-CDMA(猪口修道)
- ITSにおける国際標準化の取り組み(森田真司)
- 53 第5回ITS世界会議'98 ソウル**
(松宮直規/小針一正)
- 54 日本の情報通信企業が直面する戦略課題**(高橋洋文)
- 新通信インフラ時代の幕開け(猪口修道)
- 新生KDDの誕生(白木 隆)
- 55 デジタルネットワーク化の伸展**
- テレビ・メディアをめぐる新世紀の胎動を考える(藤岡伸一郎)
- 「地上波デジタル」英米でテイクオフ(高橋孝輝)
- デジタル情報ネットワークの中の自動車(館内 端)
- 56 通信市場の構造変化をめぐって**
- 通信市場を席卷する地球規模の合従連衡(田村紀雄)
- 日本にも大きく影を落とすAT&Tの世界戦略(音 好宏)
- 57 ブレイクする第3世代通信ネットワーク**
- データウェブがIPネットを導く(高橋洋文)
- 電話からIPへ(高橋孝輝)
- 58 モバイルコミュニケーション時代の到来**
- メディア人間——その「移動」とコミュニケーション(中野 収)
- イリジウムの蹉跎から学ぶ教訓と事業再構築の方向(大浦勇三)
- モバイルメディア・ITSとクルマの姿を考える(倉沢鉄也)
- 59 ワイヤレスカード技術の展開**
- ワイヤレスカード実用化進展のための条件と展望(圓川隆夫)
- 海外におけるICカード乗車券の動向(八賀 明)
- ITSはICカード/非接触技術といかに付き合うのか(山田慎一郎)
- 60 新しい世紀の都市と交通を考える**
- 座談会・21世紀をどう迎えるのか(伊藤 滋、紺谷典子、大石久和、司会・小松原茂郎)
- 物流とITS(泉 眞也)
- こうあってほしい、ユーザーからみた21世紀の車社会(鳥塚俊洋)
- 61 次世代携帯電話ビジネスをめぐって**
- 電気通信事業の再編の特徴と今後の展開(音 好宏)
- 次世代携帯「IMT—2000」の展望(高橋孝輝)
- KDDIの誕生(白木 隆)
- 62 国土交通省がスタート**
- IT革命によるITSの文化的展開(奥野卓司)
- AHSの実用性を示したスマートクルーズ21—Demo2000(沼崎英夫)
- 63 ITS“モード”へ……**
- ITS実用化の社会的インパクトと問題点(森谷正規)
- 進展するカーナビの業界標準づくり(猪口修道)
- 事業化目前の「電気自動車シェアリング」(高橋孝輝)
- 扇大臣、エコ・カー試乗
- 64 進展するETCサービス**
- ETC=ETC, etc(赤羽弘和)
- トヨタはじめ自動車業界のITSへの取り組み(田野倉保雄)
- “ETC 魅力”の合意はできるのか(倉沢鉄也)
- 65 地域ITSの展開のために**
- 「地域遺産」活性化の重要性(奥野卓司)
- 欧州における地域ITSをめぐる新しい動向(加川智博)
- 米国における地域ITSをめぐる新しい動向(藤高勝己)
- 66 第3世代携帯電話ビジネスをめぐって**
- 第3世代携帯電話の普及のための課題(音 好宏)
- NTTドコモの次世代携帯戦略(高橋孝輝)
- KDDIの次世代携帯電話サービスの展開について(長尾 哲)
- 67 都市ITSの展開**
- インタビュー・ITS、2010年の課題と展望(越 正毅/高橋孝輝)
- 「都市ITS」の概要について(水戸靖男)
- 68 道路交通ビジネスの規制緩和をめぐって**
- ITSはメディア・コンテンツビジネスに取り組みめるか(倉沢鉄也)
- ドライバーから見た交通情報サービス(鳥塚俊洋)
- 道路交通情報ビジネスの国際比較(トラフィック・インフォーメーション・コンソーシアム)
- 69 自動車の情報システムをめぐって**
- インタビュー・トヨタ自動車における自動車の情報システムの展望(吉田博昭/編集部)
- 座談会・日本における自動車の情報シ

システムの現状と課題（野口好一／時津直樹／真崎俊雄／司会・編集部）

70 道路環境ビジネスに取り組む

- 道路環境ビジネス研究会について（安達常太郎）
- エコロードビジネス研究への期待とその展望について（岸井隆幸）
- 道路空間の有効活用と都市活性化ビジネス（北原理雄）
- クリーンエネルギー社会と道路空間活用の展望（大聖泰弘）

71 携帯電話ビジネスの新たな展開

- 『FOMA』の不調、『写メール』『CDMA 2000 1x』のヒットがもたらしたものの（高橋孝輝）
- 描かれつつある日本型ユビキタス社会のデザイン（音 好宏）

72 ITSの最新展開

- ICカードが生み出す多彩なITS／テレマティクスビジネス（時津直樹）
- 現行ETCの課題と次世代ETCに望まれるもの（西田敏正）

73 スマートコミュニケーションシンポジウム

- DSRC 応用サービスの普及促進を図る基調講演・期待されるスマートコミュニケーションの広がり（渡邊浩之）
- 講演・スマートコミュニケーションとETC普及の展開（宮地淳夫）
- DSRCを中心としたITSへの取り組み（富永昌彦）
- DSRCが拓くITS産業への期待（田端祥久）
- パネルディスカッション・スマートコミュニケーションサービスの展開を考える（小池建四郎／菊地仙一郎／松尾祐二／岩越和紀／コーディネーター・両角岳彦）ほぼ全回答がビジネス拡大の可能性を感じる——会場アンケートの調査結果——デモンストレーション・展示——大勢の来場者でにぎわう——

74 デジタルテレビ時代を迎えて

- 地上デジタル放送の直面する課題とメディアビジネスの構造変革の可能性を考える（音 好宏）
- 自動車ユーザーはテレビが好き？（鳥塚俊洋）
- デジタル放送を用いた地図情報活用に関する調査研究（浦野 隆／菊地紀幸）

REPORT

37 新潟～仙台天然ガスパイプライン建設工事視察概要

（道路新産業開発機構企画開発部）

38 21世紀に向けての情報ハイウェイ構築（日本高速通信（株）経営企画部）

39 これからの道路投資と平成7年度道路事業予算及び電線共同溝整備の説明会（建設省、高田・佐々木両氏の講演より）

40 高齢化社会はチャチャチャのチャー——第15回講演会より（樋口恵子）

41 ノンストップ自動料金収受システムの共同研究について（道路新産業開発機構調査部）

42 今後の有料道路のあり方についての中問答申（建設省道路局有料道路課・高速道路課）

43 進むマルチメディア化と新事業の開発（日本高速通信株式会社）

44 地球環境問題と環境マネジメント——第16回講演会より（茅 陽一）

46 平成9年度道路事業予算等の説明会——これからの道路投資と平成9年度道路関係予算について（日原洋文）、道路行政をめぐる最近の動きについて（吉田光市）、ITS（高度道路交通システム）の研究開発・整備の促進について（岩崎泰彦）

48 平成10年度ITS 関係予算要求の概要（大寺伸幸）、日本とアジア——第17回講演会より（中江要介）

49 平成10年度道路関係予算概算要求等の説明会を開催——道路行政をめぐる最近の課題について（松原文雄）、平成10年度道路関係予算概算要求等の内容について（吉田光市）、新たな道路整備五箇年計画（案）について（森 昌文）

50 進展する日本のメディア再編（音 好宏）

51 世界初、移動体デジタル衛星放送サービス登場（沼崎英夫）

52 新しい全国総合開発計画——第18回講演会より（下河辺 淳）

53 平成11年度道路関係予算概算要求等の説明会を開催——道路行政を

めぐる最近の諸課題について（榊正剛）、平成11年度道路関係予算概算要求等の概要について（吉田光市）

54 平成11年度建設省におけるITS予算の概要（ITS 統括研究部）、CG・VR 技術の公共事業計画への応用に関する調査研究について（加藤長生）

55 世田谷情報ハイウェイモデル実験について（浜田誠也）

56 変わる消費市場とこれからの小売り業——講演会より（坂本春生）、スマートウェイ推進会議が建設大臣に提言を提出（玉岡英敏）

57 平成12年度道路関係予算概算要求等の説明会を開催——道路行政をめぐる最近の諸課題について（榊正剛）、平成12年度道路関係予算概算要求等の概要について（榊島 徹）、2005年日本国際博覧会におけるITSの実用化について（水谷 仁）、ETCの中核を担う——道路システム高度化推進機構が設立（浜田誠也）

58 CWCビジネスの本格始動（猪口修道）

59 道路における情報通信機能のあり方等に関する調査研究について（大平賢作）

60 都市計画の21世紀的視点——講演会より（伊藤 滋）

61 平成13年度道路関係予算概算要求等の説明会を開催——道路行政をめぐる最近の諸課題について（大森雅夫）、平成13年度道路関係予算概算要求等の概要について（榊島 徹）

62 [1] 第7回ITS 世界会議トリノ2000（松宮直規）、[2] 第4回スマートウェイ推進会議報告（嶋野崇文）、[3] 第16回道路新産業開発機構海外調査団の報告（大平賢作）

63 [1] いよいよETCのサービスが開始される（阿久澤泰雄）、[2] 「スマートウォークつくば」社会実験結果について（藤高勝己）、[3] 梅田ターミナル地区移動支援実験について（森谷良一）

64 [1] ITS／スマートウェイの現状

と今後の展開——講演会より(青木栄治)、[2] 梅田ターミナル地区移動支援実験の結果について(2)(森谷良一)

65 平成14年度道路関係予算概算要求等の説明会を開催——平成14年度道路関係予算概算要求等の概要について(山口敏彦、特殊法人改革をめぐる最近の動向について(青木由行)

66 [1] 第8回ITS世界会議シドニー2001(金子哲也)、[2] 飛鳥ナビ社会実験(田中宏幸)、[3] 第17回道路新産業開発機構海外調査報告(中山一哉)、[4] 「新世代通信網に対応する道路高度情報基盤施設の整備に関する海外調査」報告(大畑 晋、大平賢作)

67 [1] 2002 PIARC 第11回国際冬期道路会議札幌大会(金子哲也)、[2] XML 技術を活用した移動中の情報利用に関する研究について(嶋野崇文)、[3] 平成13年度世田谷情報ハイウェイモデル実験(浜田誠也)、[4] 渋谷スマートパーキング社会実験2002(大西康弘)

68 [1] 道路を利用した次世代型低公害自動車の燃料供給ネットワーク等に関する調査研究(調査部)、[2] 中国人とのつきあい方——講演会より(岡田英弘)、[3] 道路施設の補修・更新におけるITS導入に関する調査研究(田中宏幸)

69 [1] 道路環境ビジネス研究会について(金井秀雄)、[2] 平成15年度道路関係予算概算要求等の説明会を開催——道路行政をめぐる最近の諸課題について(林部史明)、平成15年度道路関係予算概算要求の概要について(山口敏彦)

70 [1] 第9回ITS世界会議シカゴ2002(金子哲也)、[2] 第18回道路新産業開発機構海外調査報告(金井秀雄)、[3] 「新世代通信網に対応する道路高度情報基盤施設の整備に関する調査研究」海外調査報告(大畑 晋)

71 [1] 道路環境ビジネス研究会第2回総会の開催について(金井秀雄)、

[2] 国土交通省が公開実証実験を実施(ITS統括研究部)、[3] 道路交通情報提供ビジネスに関する調査研究(高野喜昭)、[4] 但馬地域プローブ調査について(菅野秀之)

72 [1] 道路政策の新しい方向——講演会より(中村英夫)、[2] ITSアメリカ年次総会報告(吉多誠児)

73 [1] 平成16年度道路関係予算概算要求等の説明会を開催——道路行政をめぐる最近の諸課題について(林部史明)、平成16年度道路関係予算概算要求等の概要について(青木由行)、[2] 欧州道路制度実態調査報告(長谷川昭彦)

74 [1] 第10回ITS世界会議マドリッド2003(金子哲也)、[2] 第19回道路新産業開発機構海外調査報告(松本重遠)、[3] 米国「都市再生」調査(浜田誠也)、[4] 東南アジアETC実態調査報告(菅野秀之)

CONTRIBUTION

52 First Latin American Regional Conference on ITS 参加報告(西村和夫・(株)東芝S&S研究所研究主幹)

55 大競争時代に突入した世界の電気通信事業(音好宏・上智大学文学部新聞学科講師)

SERIES

・ KEYWORD GALAXY——ボーダレス・ワールドを見通す(若林一平・文教大学国際学部教授)

36 1984～1994、CD-ROM、MIDI、バーチャル

37 モトローラ、LAN、CASE、ノマド

38 ショーストッパー、TCP/IP、DRAM、エージェント

39 電話網、パケット交換、BBS、ファイアウォール

40 WWW、ネットスケープ、サービス・プロバイダ、フリーウェア

41 DVD、タイム・ワナー、JPEG、MPEG

42 ウィンドウズ95、セットトップ、PHS、ホームページ

43 ザ・インターネット、公開カギ暗号方式、イントラネット、ジャワ

・ 新若者王国訪問記

(橋川幸夫・コンセプトバンク頭取)

36 フリーマーケット

37 精神世界に関心を深める若者たち

38 若者たち、言葉の王国

39 ファッション王国は何処へ行く?

40 若者はおなががいっぱい

41 若者たちのメディア参加

42 ゲームセンター

43 若いママさんたちの風景

・ ANIMAL CROSSING

(田村研平・エッセイスト)

36 勇壮なサメは本当に海のギャングなのか?

37 招き猫はいるが忠猫ハチ公はなぜいない?

38 漢字で猪は家の事なのになぜ干支は猪か?

39 人間はなぜヘビが嫌いか?

40 カバは本当に血の汗をかくのか?

41 好きだから男性は子育てに励むのだろうか?

42 ネズミはなぜ忙しく食うのだろうか?

43 ハヤブサは時速350キロでどのように襲うのか?

44 17年ゼミはなぜ17年に一度、姿を現わすのか?

45 ニルスのようにガンと空を飛べるのだろうか?

46 線路に石を置くのは“カラスの勝手”だろうか?

47 ダチョウはなぜ飛べないのだろうか?

48 ホタルを何匹集めれば本が読めるのか?

49 ウサギの耳はどうして長いのか?

50 サイはなぜ尿を後ろに噴射するのか?

51 トガリネズミはなぜタフな大食漢なのか?

52 ムササビはどのように滑空するのだろうか?

53 ライオンは本当に怠け者なのか?

54 干潟や湿地は本当に役にたつだろうか?

- 55 マングースのひょうきん顔に、なにが隠されているのか？
- 56 アホウドリは大海原をどのように飛ぶのか？
- 57 ゾウやライオンの本当の敵は何だろう？
- 58 恐竜は『ゴジラ』のように鈍かったのか？
- 59 人間はワニと同居してるって本当か？
- 60 若者のどこがパンダに似ているのか？
- 61 犬が猫化するの時代の流れだろうか？
- 62 なぜ、猫の人气が低下したのだろうか？
- 63 熱帯雨林は新種の生物の宝庫なのか？
- 64 アカショウビンはなぜ“火の鳥”なのか？
- 65 人間は海中を100メートル以上、素潜りできるか？

・長距離電話（ロングライン）のビジネス史

（田村紀雄・東京経済大学経営学部教授）

- 36 サテライトの実用化と WATS（800番）のアイデア
- 37 TAS、通販、読者管理のニュービジネス群を生み出す
- 38 サテライト時代の幕開け
- 39 MCI の荒々しい登場
- 40 CATV 番組の搬送事業生まれる
- 41 米国の州公益事業委員会（PUC）の役割
- 42 コンピュータ産業との新しい棲み分けを求めて
- 43 ATT 解体と国をあげたリストラ

・InternetRoad

（若林一平・文教大学国際学部教授）

- 44 INET '96 インターネットソサエティ年次大会から
- 45 リーダーズダイジェストの華麗なる仕掛け『ルックススマート』
- 46 宇宙ライブを楽しむ
- 47 電子現金（eキャッシュ）の文明史的衝撃
- 48 アマゾン VS. バーンズ

- 49 ソロス VS. ゲイツ
- 50 ヤフー！からノーザンライトまで
- 51 「インターネット」が「電話」を乗っ取る
- 52 Y2K（2000年問題）は未知の冰山
- 53 「神様」ジョン・ポステル逝く
- 54 ディズニーがポータル（入口）サービスに進出
- 55 静かに進むケーブル革命
- 57 ネット競売会社イーベイ（eBay）成功物語
- 58 アメリカンオンライン（AOL）がタイムワーカーを買収
- 59 プレイステーション2（PS2）の衝撃
- 60 INET2000 からオープンソース運動がビジネスを変える
- 61 ネットプライバシーとバイオ技術

・INTELLIGENT SPOT

- 37 多摩六都博物館
- 38 恵比寿麦酒記念館
- 39 ジョイボリス
- 40 SPACE VISION
- 41 サイバーネットカフェ
- 42 夢ディア
- 43 未来科学技術情報館
- 47 南部杜氏の里・道の駅「石鳥谷」

・FANとしてのインターネットを考える

（亀田武嗣・デジタルメディア研究所主任研究員）

- 44 インターネットバブルの“真っ只中”で……
- 45 波はブレイク直前に立て
- 46 家庭と地域と社会が繋がる時
- 47 座談会・インターネットの未来

・世紀末・若者状況・キーワード

（橘川幸夫・デジタルメディア研究所長）

- 44 若者は次の時代の感知器（センサー）
- 45 老いも若きも均質な情報空間を共有
- 46 若者は価値観の変化を体現している
- 47 現代は“減公奉私”の世界
- 48 「自分が好きになるもの」を求める
- 49 若者の視線は「内側」に向かう
- 50 見え隠れする極度のニヒリズム
- 51 すべての商品が「衣装＝ファッション化」した
- 53 所有の時代から活用の時代へ
- 54 メディアという新しい現実
- 56 たわいのない“遊び”の天才

・21世紀企画書ノート

（橘川幸夫・デジタルメディア研究所代表）

- 59 インターネットはすでに「前提」となった
- 61 ハードの革命とソフトの多様性
- 64 キラーコンテンツは教育
- 65 まず“壊”よりはじめよ！

・ロングラインとニュービジネスの展開

（田村紀雄・東京経済大学コミュニケーション学部教授）

- 48 地球規模の規制緩和で市場活況
- 49 WATS の競争でテレマーケティング生まれる
- 50 VAN（付加価値通信）に企業チャンス
- 51 CS が実現した広領域搬送
- 52 テレポート構想、世界を駆けめぐる
- 53 テレビ会議、ホテル・貸会議場の通信参入
- 54 ネットワークビジネス“フランチャイズ”急増
- 55 「公衆電話」ベンダーの獲得戦争
- 57 テレコム会社の吸収・合併・投資の荒波
- 58 テレコム・ビッグバンが生んだ新しい「複合企業体」
- 59 ビデオテックスの「挫折」から学んだ“コンテンツ”問題
- 61 サテライト時代の幕開け、事業もグローバル化へ
- 62 衛星事業が生み落としたベイTV市場
- 63 PPV（ペイ・パー・ビュー）、映画番組の寿命循環延長
- 65 通信料の新体系と出版流通革命
- 67 「在宅化社会」で発生した支援事業
- 68 ARPANET の創出
- 69 カナダ、アメリカからの自立
- 70 英国、C&W と BT の制覇
- 71 中国、WTO 加盟で加速する通信市場の拡大
- 72 IT 先進国韓国、いまや世界に君臨
- 73 アボリジニーとの共生の通信路、オーストラリアの実験
- 74 米・巨大な Verizon 社誕生の衝撃

・InternetRoad 21

（若林一平・文教大学国際学部教授）

- 62 モビリティが開くネットワーク時代
- 63 ナップスターの「ピアツーピア」革命

の衝撃

- 64 フリー暗号ソフトの旗手ツインマー
マン
- 65 今、ネットマガジンがおもしろい
- 66 ネットを席卷するか、モールの文化
- 67 日本生まれのパーソナル・ロボット
の世界
- 68 DJ、電話、ゲームから大学院まで
- 69 シルクロードハイウェイを走る
- 70 カムテクノロジーに向けて
- 71 インターネットでオイルを読む
- 72 過熱するプライバシー論争
- 73 「アメリカを造る」鉄道ネットワーク
- 74 世界情報社会サミット開催

BUSINESS TRENDS

- 37 インターネットで情報発信——(株)ア
トソン
- 39 変身するFMラジオ
- 40 セコムラインズの「ラインズエース」
- 41 バーチャルセラピィ
- 42 日本マリッジシステム (JMS)
- 43 インターネットスクエア
- 49 ロボショップ・スーパー-24
- 51 好調の波に乗る、総合ビジネスモー
ル“MediaGalaxy”

INFORMATION

- 36 ISO / TC204 の活動について ● 地
について ● 平成6年度事業計画説明
会と第14回講演会を開催 ● 豊田会
長、経団連会長に就任 ● 財団日誌(財)
道路新産業開発機構賛助会員 (平成
6年6月1日現在) ● 機構の調査報
告書一覧表 ● 財団日誌 (機構10年間
の歩み) ● 総目次 ● 道路新産業開発
機構の組織 ● 編集後記
- 37 第6回賛助会員見学会を実施 ●
VINS'94 展示会に出展 ● 編集後記
- 38 第10回道路新産業海外調査の概要
について ● ARTS & IVHS 欧州調
査団報告 ● 財団日誌 ● 編集後記
- 39 VICSの近況 ● 研究審議会と評議員
会を開催 ● 財団日誌 ● 編集後記
- 40 第1回調査研究発表会を開催 ●
VICSの財団設立について ● 平成7
年度事業計画説明会と第15回講演

会を開催 ● 財団日誌 ● 編集後記

- 41 「第2回ITS世界会議'95横浜」開
催 ● シンガポールの道路課金システ
ム ● 第7回賛助会員見学会を実施 ●
財団日誌 ● 編集後記
- 42 第11回道路新産業海外調査団の概
要について ● 欧州道路環境対策調査
団に参加して ● 財団日誌 ● 編集後記
- 43 平成8年度道路事業予算等の説明会
を開催 ● 財団日誌 ● 編集後記
- 44 (財)道路新産業開発機構賛助会員(平
成8年7月23日現在) ● 第2回調
査研究発表会を開催 ● 平成8年度事
業計画説明会と第16回講演会を開
催 ● ETC (ノンストップ自動料金
収受システム) 共同研究結果の公表
について ● 財団日誌 ● 編集後記
- 45 第3回ITS世界会議開催さる ● 第12
回海外調査の概要 ● アトランタ ITS
プロジェクト調査団報告 ● カリフォル
ニア PATH 訪問 ● 第8回賛助会
員見学会を実施 ● 新事務所に移転 ●
財団日誌 ● 編集後記
- 46 インターネットホームページを開設
● 財団日誌 ● 編集後記
- 47 ダンロップ博士来訪 ● 財団日誌 ● 編
集後記
- 48 (財)道路新産業開発機構賛助会員(平
成9年8月1日現在) ● 第3回調査
研究発表会を開催 ● 平成9年度事業
計画説明会と第17回講演会を開催
● 財団日誌 ● 編集後記
- 49 第2回アジア太平洋地域ITSセミナ
ー報告 ● AHS Demo'97 報告 ● 第
9回賛助会員見学会を実施 ● 財団日
誌 ● 編集後記 ● 「ITS日米欧3極比
較レポートPART II——ただいま頒
布中——」
- 50 第13回道路新産業開発機構海外調
査の概要 ● 米国モデル・ディプロイ
メント (MDI) の概要 ● 財団日誌 ● 編
集後記
- 51 長野地域ITSショーケース見学会 ●
財団日誌 ● 編集後記 ● 本誌に関する
アンケート調査結果のご報告
- 52 (財)道路新産業開発機構賛助会員(平
成10年8月1日現在) ● 平成10年
度事業計画説明会と第18回講演会
を開催 ● 第4回調査研究発表会を開

催 ● 第8回ITSアメリカ年次総会調
査報告 ● GIFU メッセ&シンポジウ
ム'98を開催 ● ETCパートナー会議
提案説明会を開催 ● 財団日誌 ● 編集
後記

- 53 第10回を迎えた賛助会員現場見学会
● ETCパートナー会議について ●
財団日誌 ● 編集後記
- 54 第14回道路新産業開発機構海外調
査団報告 ● 第30回理事会を開催 ●
平成10年度新規加入賛助会員の紹
介 ● 財団日誌 ● 編集後記
- 55 建設省道路局に「高度道路交通シス
テム (ITS) 推進室」が設置される
● 新技術フェア〜パシフィック横浜〜
● 平成11年度事業計画説明会、調査
研究発表会のご案内 ● 財団日誌 ● 編
集後記
- 56 平成11年度事業計画説明会、講演
会、調査研究発表会を開催 ● ITS IN
EUROPE'99の報告 ● 第9回ITSア
メリカ年次総会調査報告 ● 第3回ア
ジア太平洋地域ITSセミナーに出席
して ● 第31回理事会を開催 ● 財団日
誌 ● 編集後記
- 57 (財)道路新産業開発機構賛助会員(平
成11年10月現在) ● 第6回ITS世
界会議'99トロント ● 第33回東京モ
ーターショーの報告 ● '99中国国際
ITS展示会・セミナー報告 ● 第21
回世界道路会議 (The XXIst World
Road Congress) について ● 第11回
賛助会員現場見学会を振り返って ●
平成11年度新規加入賛助会員の紹
介 ● 第32回理事会を開催 ● 人事異
動 ● 財団日誌 ● 編集後記
- 58 平成12年度 建設省におけるITS
予算の概要 ● 平成11年度世田谷情
報ハイウェイ推進協議会海外調査報
告 ● 第15回道路新産業開発機構海
外調査報告 ● 人事異動「99年度ITS
HANDBOOK」販売のご案内 ● 財
団日誌 ● 編集後記
- 59 ETC 試行運用開始される ● ISO /
TC204 データ辞書に関する第4回
アドホック会議に参加して ● 関東技
術事務所建設技術展示館にITS展示
コーナー開設 ● 地下駐車場における
ETC 実用化の検討 ● 第11回研究審

議会、第16回評議員会開催される
●人事異動●平成12年度事業計画
説明会、講演会、調査研究発表会
のご案内●財団日誌●編集後記

- 60 平成12年度事業計画説明会、講演会、調査研究発表会を開催●(財)道路新産業開発機構賛助会員(平成12年7月1日現在)●第2回台湾ITS国際会議・展示会に参加●第10回ITSアメリカ年次総会調査報告●ISO/TC204京都会議報告●第4回アジア太平洋地域ITSセミナー報告●人事異動●平成12年度新規加入賛助会員の紹介理事・監事の交替●第16回海外調査団派遣のご案内●第33回理事会を開催●第12回賛助会員現地見学会のご案内●財団日誌●編集後記
- 61 ETCの試行運用について●ヨーロッパITS調査報告「スマートウオークつくば」について●平成12年度ITSトレーニング開催される●新発足する国土交通省の概要●理事の交替●財団日誌●編集後記
- 62 平成13年度国土交通省道路関係予算におけるITS関連予算の概要●平成12年度世田谷情報ハイウェイモデル実験●平成12年度世田谷情報ハイウェイ推進協議会海外調査報告●第7回ITS世界会議での発表について●建設省新技術フェア関東2000開催●第12回賛助会員現地見学会を振り返って●第34回理事会を開催●理事の交替●「ITS HANDBOOK(2000~2001年版)」販売のご案内●財団日誌●編集後記
- 63 アジア諸国における道路交通情報提供に関する動向調査●関東技術事務所建設技術展示館のITS展示コーナーがリニューアル●総務省が電波法施行規則等の一部改正を諮問●独立行政法人土木研究所の発足●第12回研究審議会、第17回評議員会開催される●人事異動●平成13年度事業計画説明会、講演会、調査研究発表会のご案内●第17回海外調査団派遣のご案内●財団日誌●編集後記
- 64 平成13年度事業計画説明会、講演会、調査研究発表会を開催●ISO/

TC204 ホノルル会議報告●ITSアメリカ年次総会報告●2001 ITS IN EUROPEの報告●第35回理事会を開催●平成13年度新規加入賛助会員の紹介●理事・監事の交替●第13回賛助会員現地見学会のご案内●第17回海外調査団派遣のご案内●財団日誌●編集後記

- 65 米国における道路占用制度及び線路敷設権に関する実態調査報告●(財)道路新産業開発機構賛助会員(平成13年11月30日現在)●平成13年度ITSトレーニング開催される●機関誌送付用封筒をリニューアル●財団日誌●編集後記
- 66 平成14年度国土交通省道路関係予算●第35回東京モーターショーの報告●第13回賛助会員現地見学会を振り返って●平成13年度新規加入賛助会員の紹介●第36回理事会を開催●理事の交替●人事異動●ITS HANDBOOK(2001~2002)●販売のご案内●財団日誌●編集後記
- 67 第13回研究審議会、第18回評議員会開催される●平成14年度事業計画説明会、講演会、調査研究発表会のご案内●第18回海外調査団派遣のご案内●財団日誌●編集後記
- 68 平成14年度事業計画説明会、講演会、調査研究発表会を開催●ITSアメリカ年次総会報告●ISO/TC204 WG 1 オックスフォード会議に参加して●第5回アジア太平洋地域ITSフォーラムソウル大会●第37回理事会を開催●新規加入賛助会員の紹介●理事の交替●人事異動●第14回賛助会員現地見学会のご案内●第18回海外調査団派遣のご案内●財団日誌●編集後記
- 69 「新世代通信網に対応する道路高度情報基盤施設の整備に関する海外調査」報告●平成14年度ITSセミナー開催される●(財)道路新産業開発機構賛助会員(平成14年10月1日現在)●日仏運輸協力会議に参加して●役員の交替●財団日誌●編集後記
- 70 平成15年度国土交通省道路関係予算におけるITS関連予算●第14回

賛助会員現地見学会を振り返って●第38回理事会を開催●ITS HANDBOOK(2002~2003)販売のご案内●財団日誌●編集後記

- 71 第14回研究審議会開催される●第19回評議員会開催される●人事異動●平成15年度事業計画説明会、講演会、調査研究発表会のご案内●財団日誌●編集後記
- 72 平成15年度事業計画説明会、調査研究発表会、講演会を開催●第39回理事会を開催●理事の辞任●第15回賛助会員現地研修会のご案内●第19回海外調査団派遣のご案内●財団日誌●編集後記
- 73 平成15年度ITSセミナー開催される●財団日誌●編集後記
- 74 晴天に恵まれた第15回現地研修会●平成16年度国土交通省予算におけるITS関連予算●第41回理事会を開催●平成16年度事業計画説明会、調査研究発表会及び創立20周年記念講演会、懇親会のご案内●ITS HANDBOOK(2003~2004)販売のご案内●財団日誌●編集後記

表紙

- 36~67 村上 勉
68~74 マブチデザインオフィス
裏表紙
68~74 写真・四季の道路
(提供: JH)

TRAFFIC & BUSINESS

季刊・道路新産業

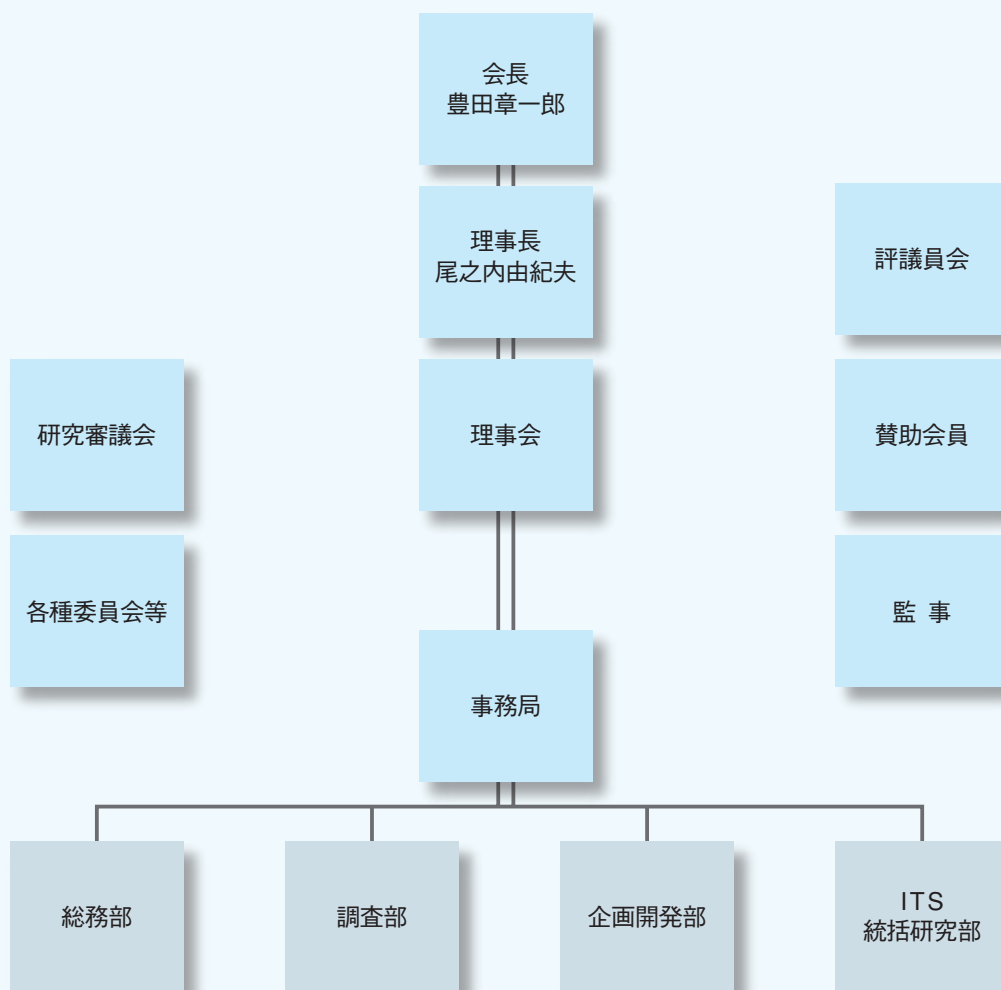
SPRING & SUMMER 2004 No.75
(平成16年6月17日)

発行 財団法人 道路新産業開発機構
〒104-0045 東京都中央区築地7丁目17番1号
住友不動産築地ビル2階
TEL 03-3545-6633(代表)
FAX 03-3545-6660
ホームページ <http://www.hido.or.jp>

編集発行人 斉藤隆司
編集協力 株式会社リーブル
印刷 有限会社セグチ

★本誌掲載記事の無断複製をお断わりします。

道路新産業開発機構の組織



●理事会

理事会は、寄附行為に別に定めるもののほか、業務の執行に関する重要事項について議決する。

●評議員会

評議員会は、寄附行為に別に定めるもののほか、会長または理事長の諮問した事項を審議し、この法人の資産及び事業執行の状況について報告を受ける。

●研究審議会

研究審議会は、会長または理事長の諮問に応じ、この法人の行う調査研究の基本計画について審議し、及びこれに関し必要と認める事項について会長または理事長に助言する。

●事務局

現在人員は、常勤役員 3 名 職員 48 名 計 51 名 (平成 16 年 3 月 31 日現在)

編 集 後 記

当機構は、昭和 59 (1984) 年、産・学・官の広範なパートナーシップにより、新たな道路機能の創造・拡充をめざして、道路に関する新たな産業分野の調査研究、開発育成を目的として誕生しましたが、この度、創立 20 周年を迎えることができました。これもひとえに国土交通省をはじめ賛助会員企業、関係各方面の皆様方のご指導、ご協力の賜物と、深く感謝する次第です。

設立以来、日本高速通信株式会社の設立 (昭和 59 年 11 月、その後平成 12 年に KDDI に統合) をはじめとして、これまでに 11 の団体の設立のお手伝いをする等、官民の橋渡しに力を尽くしてまいりました。

わが国は少子高齢化、高度情報化、社会経済のグローバル化等の進展により、大きな転換期を迎えております。当機構も時代に応じた意識の変革・対応に努力し、さらに飛躍・発展を期したいと存じます。

今号は、創立 20 周年記念特別号として編集いたしました。巻頭では調査研究活動の全般にわたってご指導、ご協力をいただいている清原慶子様 (三鷹市長)、森地 茂様 (政策研究大学院大学教授)、渡邊浩之様 (トヨタ自動車 (株) 専務取締役) に出席いただき、今後の近未来を展望し、その中における機構の役割などについて、広い観点からお話しいただきました。

そして、当機構の生みの親ともいべき梶原 拓岐 岐阜県知事から、貴重なメッセージをいただきました。さらに、賛助会員企業 6 社からの出席をいただいて、これからの当機構の活動の展望について、忌憚のないお話しをいただきました。

本誌も、今後一層の充実を図ってまいりたいと存じますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。 (S)